

桜の聖母短期大学

親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2016年12月



10月・11月、食物栄養専攻の教員、学生の協力で行った「親子クッキング」、いかがだったでしょうか？参加した保護者の方からは、「自分では思いつかない様なアイデアで作っていて、感心しました」、「子どもが美味しそうに食べていて、良かったです」などの声が聞かれました。りんごジュースを作る時に使用したジューサーにりんごを入れる作業を夢中で行う、美味しそうなおさつモンブランを前に、待ちきれなくて、「いただきます」の前につい食べてしまう…など、クッキングでの子ども達の様子も様々で、見ていると、成長を感じたり、気持ちが温かくなりました。

毎日寒い日が続いています。手洗いうがいをする他に、しっかり寝て、食べて、服装でうまく体温調節をしながら、体調を崩さない様にしましょう。そして、今月も広場に沢山遊びに来て下さいね。 文責 長谷川美香



11月の広場より



学生の学びの場にもなっています

以前から、短大のこども保育コースの学生が広場の保育を観察、または参加させていただいていますが、最近も、多くの学生の姿をご覧になったかと思えます。

2年生は全ての実習が終わり、今は、これまで学んだことを振り返り、来年から保育者として仕事をするための準備もする、いわば集大成の時期です。ある授業では、広場での保育内容を計画、実践し、振り返るということをグループごとに行っています。実習を数回経験したこともあり、子どもや保護者の皆さんとの関わりも1年生とはまた違う、成長した様子が見られ、振り返りをする学生からは、「今後、保育者になるうえでの課題がみえてくる」、「実習とは違い、保護者の方と話す機会もあるので勉強になる」などの声が聞かれています。

今後も学生が参加します。よろしくお願ひ致します。



手前は2年生、奥は保育を観察する1年生です。1年生にとっては2年生の様子を見ることも、勉強になっています。



「あ！見つけたよ！」この日は、さつまいもを新聞プールや保育室の隅などに隠し、見つける遊びもしました。

親子クッキング

美味しかったね、楽しかったね

下の写真は、11/11に「さつまいもプディング」を作った時の様子です。K君（2歳）はりんごジュースを作るのに用意したジューサーに夢中。りんごを入れること自体が楽しいのか、それとも徐々に小さくなるのが不思議なのか…長い間集中して、りんごを入れる作業のお手伝いをしてくださいました。

また、お手伝いをしている最中には、つい、りんごを口に入れるお子さん達の姿もちらほら…。美味しそうなのが目の前にあったら、仕方ないですよ。

10月の親子クッキングに引き続き、美味しそうに頬張るお子さん達の姿が見られました。



ドキドキワクワク初めての経験 ～小麦粉粘土

「さつまいもプディング」を作った日は、学生が小麦粉粘土を用意していました。粘土でもプリンを作れるようにと、事前に黄色や茶色の色をつけていたのです。



遊び始めると、その柔らかな感触に触れたり、イメージを膨らませて作る楽しさを感じながら遊ぶ姿が見られました。「消防車が作りたい！」というリクエストもあったそうで、広場が終わってから「赤色も用意すれば良かった」という学生の声も聞かれました。

小麦粉粘土に限らず、広場の中で、お子さんの初めての経験を大切にしながら、無理なく、一緒に楽しめる機会をこれからもつくっていただきたいと思います。

大好きなもの見つけた

短大の文化祭で使用した手作りのトトロやネコバスを保育室の上の窓に飾っていたところ、保育室に入った途端、真っ先に見つけたYちゃん（3歳）。気



なるのかチラチラ見ていましたが、飾りを下ろし、その口にボールを入れる遊びを見せたことで、満足そうにボールを投げ始めました。子どものちょっとした様子から気持ちを取り戻す大切さを感じた一場面でした。

教員の紹介

こども保育コースの教員を紹介します

山下敦子先生



みなさんこんにちは。私は、市町村の保健師の経験があり、乳幼児健診等で、地域に暮らす住民の方々の応援をさせていただいておりました。現在は、短大で、保育士、幼稚園教諭を目指す学生にこどもの身体のことや病気、けがの手当てについて、また保育の心理学について講義をしています。こども達一人一人が世界にたった一人しかいない大切な存在であること、自分を大切に他者も大切にできるように学生、こども達を応援していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

*広場に参加することもあるかと思います。お子さんや保護者の方の体調面のことなど、相談したいことがあれば、気軽に話してみてくださいね。宜しくお願いします。

風邪・インフルエンザを予防するには…

寒いこの時期に罹りやすい、インフルエンザに関することを、今回ご紹介した、山下敦子先生に聞きました！



インフルエンザから身を守るために

インフルエンザワクチンの予防接種は、済ませましたか？

毎年、12月下旬から流行を始めますが、今年は11月下旬に流行が早まっています。

予防接種をしてもインフルエンザにかかる可能性はありますが、重症化や合併症を防止する効果が期待できます。ワクチン接種後2週間ぐらいで抵抗力がつき、効果は約4か月ほど持続するといわれています。12歳以下の子どもは通常2回接種します。まだ接種していない方は、早めの接種をお勧めします。

インフルエンザは咳、くしゃみ、つばなどのしぶきとともに放出されたウイルスを鼻腔から吸入することによって感染します。飛び散ったインフルエンザウイルスが付着したものを手で触ると、鼻や口、目を介してインフルエンザに感染することがあります。手洗いが感染を防ぐうえで有効なのはそのためです。

インフルエンザウイルスは、乾燥を好みます。乾燥によりのどの粘膜の防御機能も低くなってしまいます。乾燥しやすい冬場の室内では、加湿器などを使って50%から60%の湿度を保つようにしましょう。



絵本の紹介



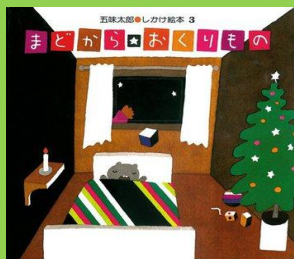
お家でお子さんと楽しめる、オススメの絵本を紹介します。雪だるまが出てくる絵本や、クリスマスにちなんだ絵本など、この季節にピッタリのものを選んでみました。



「だるまちゃんとうさぎちゃん」

作・絵： 加古里子
出版社： 福音館書店

昔から御馴染みの、「だるまちゃんシリーズ」の一つです。私自身、同じシリーズの「だるまちゃんとてんぐちゃん」を、子どもの頃によく母に読んでもらった思い出があります。温かみのある絵や、ユニークな雪だるまが出てくるなどの楽しいストーリーに、気持ちがホッコリします。



「まどから おくりもの」

作・絵： 五味太郎
出版社： 偕成社

こちらも昔からある絵本なので、読んだことのある保護者の方もいるかも知れません。しかけ絵本になっています。サンタさんが、窓の外から見える様子から、これは〇〇さんの家だろう…と予想し、その子にピッタリと思われるプレゼントを贈ってくれたのですが…。実は、家の中の本当の様子は、全然違ったのです！

<12月の予定>

2日(金)
6日(火)
9日(金)
13日(火)
16日(金)
20日(火)
23日(金) 休み
27日(火) 休み
30日(金) 休み

<1月の予定>

3日(火) 休み
6日(金) 休み
10日(火)
13日(金)
17日(火) 休み
20日(金)
24日(火)
27日(金)
31日(火)

親と子の広場のご案内

～ 小さな“さくらっこ”～

日時	火・金曜日 10:00～11:30
場所	ミリアム館1階 保育室
年齢	0歳～就園前
参加料	無料
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円(年1回) ※おうちの方と一緒に参加してください
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や 着替えなど、必要と思われるものを各自で ご用意ください
担当	奥田美由紀 長谷川美香 ※学生も勉強のため参加します。

桜の聖母短期大学

📍福島市花園町3-6 ☎024-534-7137(代表)